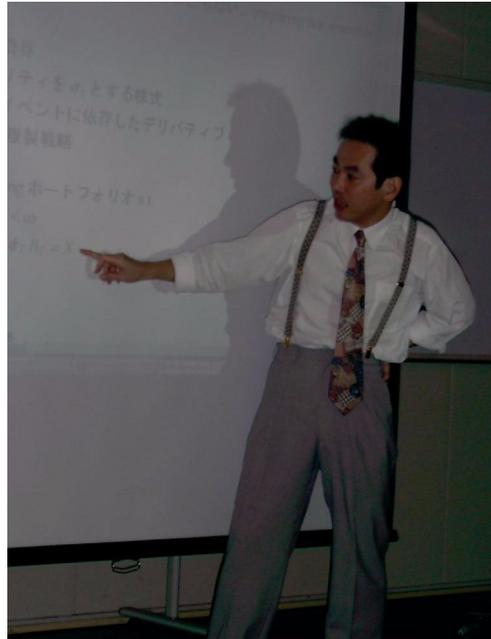


第2回 JARIP 研修会「数理ファイナンス入門」実施報告

第2回 JARIP 研修会「数理ファイナンス入門」は、講師に武蔵大学神楽岡優晶助教授をお招きして2004年7月27日（火）午後3時より開催されました。当日は54名の参加があり、この分野に対する関心の高さがうかがわれました。



研修会の前半ではファイナンスにおける価格付け理論、後半では保険における価格付け理論が紹介されました。前半は確率過程の基礎から始まり、ブラウン運動やポアソン過程、測度変換、マルチンゲール理論、伊藤のレンマなどの数学的準備をおこなったあと、投資戦略、無裁定、デリバティブ評価と続き、ブラックショールズのオプション価格を導きました。後半は、まず Bühlmann による保険商品の均衡価格の考え方から始まり、Esscher 変換による価格付けとその経済的意味を示し、次に Wang による proportional hazard 変換による価格付けと distortion operator による一般化、そしてその一例である Wang 変換が紹介されました。

非常に盛り沢山の内容でしたが、お話はコンパクトにまとめられていました。Esscher 変換の背景や、proportional hazard 変換、distortion operator、Wang 変換の関連を整理した講義はまだあまりなく、JARIP ならではの研修内容となりました。



ついでですが、神楽岡先生は非常に熱心な方で、当日まで資料に手を加えられていました。配布資料の改定版は、先生の大学のウェブサイト上で近日公開予定です。